

LICENSED PRODUCT

KODAK GRAY SCALE

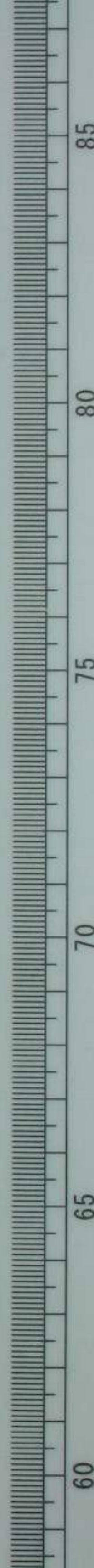
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



海外新話拾遺

一

西垣文庫
文庫10
6577
1



32
¥1,000

嘉永三
李雙

海外新話拾遺

全五冊

禁賣買



瀕海烽烟逼女牛。連年徵調夢
刀影。艤艦波浪翻蛟窟。文武衣
冠集。存身機世少。陈平博借箸。功
生。李度躬封侯。顏雲鹹。而醒。此
滿。蕭瑟橫。城。妙。尔。秋。
孤棟。飛。殿。劈。山。未。惹。管。聲。高。勁。

西垣文庫

文庫10
6577
1

地哀。一丘忠魂。蕭古月。三更燭。出
玉階。若。象。兵。甲。仗。軍。容。飛。燕。都。護
旌。旄。幕。府。冥。竟。使。檢。宜。甘。亭。長。可
憐。羅。綺。徧。塵。埃。

亦。出。烟。瘴。之。務。鳥。驚。棲。滿。目。揮。檢。已
乳。埃。十。日。塵。沙。爭。逐。一。麻。子。奈。門。巷

不。聞。鷄。生。多。金。幣。供。搜。索。零。落
詩。篇。孰。品。題。井。里。重。傷。餘。劫。出。九
軍。殘。照。海。門。再。

銅。柱。了。南。恒。仗。波。醉。似。玉。斗。動。高
歌。夢。餘。於。林。鯨。濤。險。亂。後。長。空
鶴。淚。多。誰。鴉。泣。衣。陳。蕭。坐。羨。銷。

海州府志卷之二
第廿二

海文新言抄
 兵氣尚干戈ラ何當清下京上之シ校
 躬ラ日々江既理ス釣上蓑
 古四首清人陳鶴亭スル紀事ラ之
 話也録以代眉ニ言ニ

烏有生議

例言

一 帆江嶺田氏著ストコロノ海外新話紀載ノ事件全ク夷匪犯疆録侵犯事畧ホノ書ニ就テコレヲ採擇次編ストイエ凡大小ノ事件遺脱ナキニ非ス因テ其脱スルモノヲ拾収シテ此編ヲ著ス

一 此編ノ体裁全ク新話ニヨル新話ニ載ル所ノ事件ト聞重覆雷同アリトイヘ凡是亦一事ノ始末ヲ奉ケ行文ノ勢ニヨツテ聊筆ヲ惜マサル所以ナリ也

海文新言抄

一 犯疆錄載セザル所ノ事件トイヘ氏新話ノ例ニ
 倣テ之ヲノス余田舎ノ僻境ニ生レ多ク近年船来
 ノ書藉ヲ窺フヲ得ス且ク今見所ノ者ヲア
 クルノミ

一定海懸城ノ全圖夷匪犯疆之ヲ載ス而ル新
 話之ヲ脱ス曰テ編首ニ掲テ夷人占據ノ地位ヲ示ス
 一 英吉利國人戰場ニ於テ專ラ用ル所ノモハ大小ノ火
 器ニアリ今且ク西洋船来ノ圖ヲ摸写シテ以テ考證ニ
 備ルノミ

嘉永己酉夏日

種菜翁識

海外新話拾遺卷之一

総目

卷之一

- 定海縣全圖
- 迎礮圖説
- 白礮圖説
- 忽礮圖説
- 一耳礮圖説
- 百機撒斯礮圖説
- 釵針鉄砲圖説
- ヒストル銃

英將義律窺清國情勢事

卷之二

林則徐造木筏燒討夷船事

於餘姚縣捕獲閩者事

英夷上陸乱妨陳石和尚奮戰事

林則徐鄧廷楨罷廣東總督事

於餘姚縣擒英國第三女王子事

卷之三

鳳凰岡合戰事

建洪阿於台灣討取夷船事

鎮海城沒落

欽差大臣裕謙最後事

卷之四

乍浦海岸築臺塲事

匪徒乱妨事

列女劉鳳姑事

皇侄奕山進發事

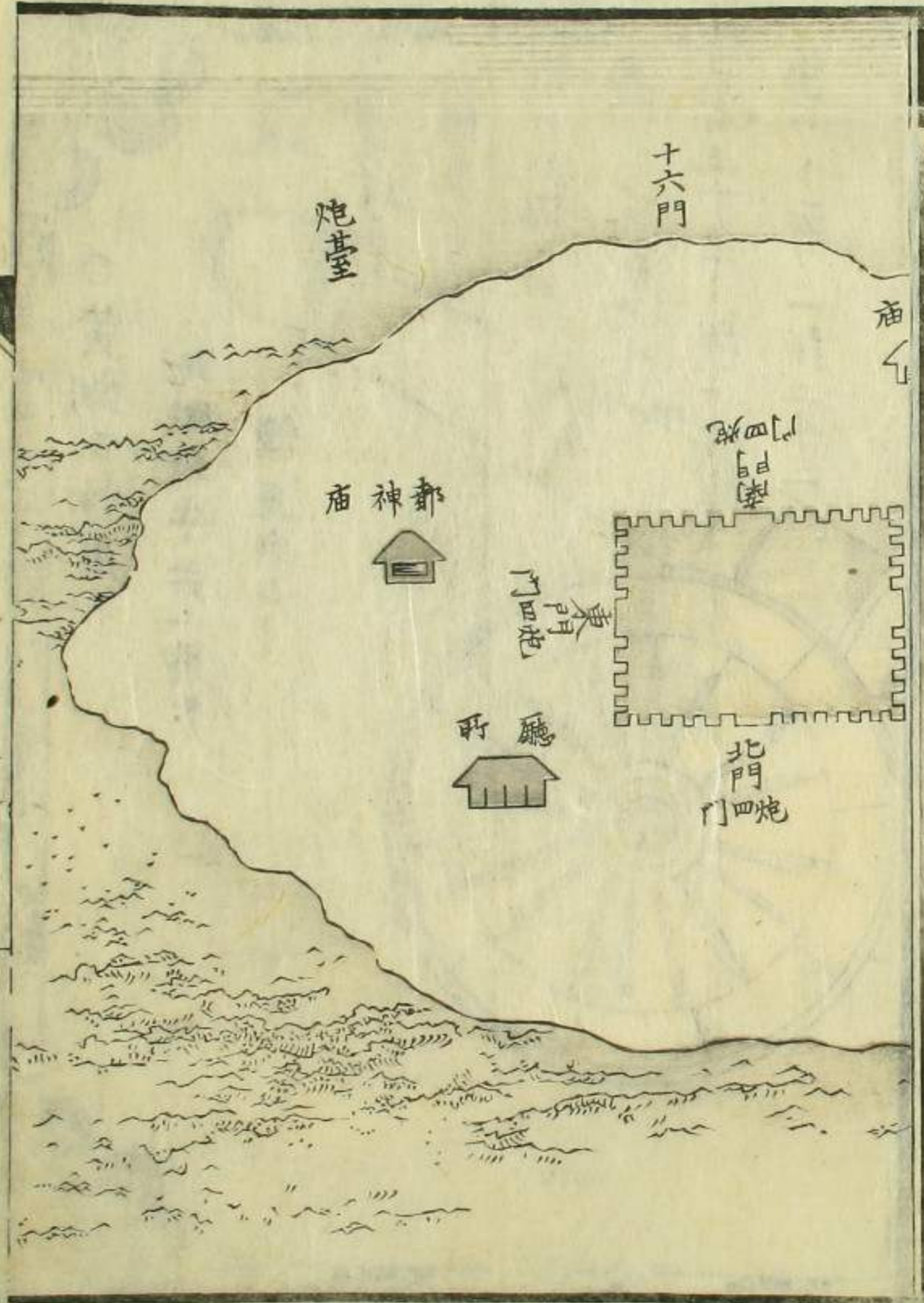
廣東九十餘鄉村民憤怒起兵事

卷之五

佛狼西船到場子江事

ハルツノイノカサニ
慧星出頭ハルツノイノカサニ 換延海上書事
ハルツノイノカサニ
五ヶ所交易館之事

一貧天下共百瘵
眼前俱肉食謀何
出憂深草野儒



海防新法

卷之二

定海縣地圖



海防新法拾遺卷之一

卷之一

○黄銅ヲ称用ス

此礮攻守共ニ用テ

便宜多シ

近世火砲其

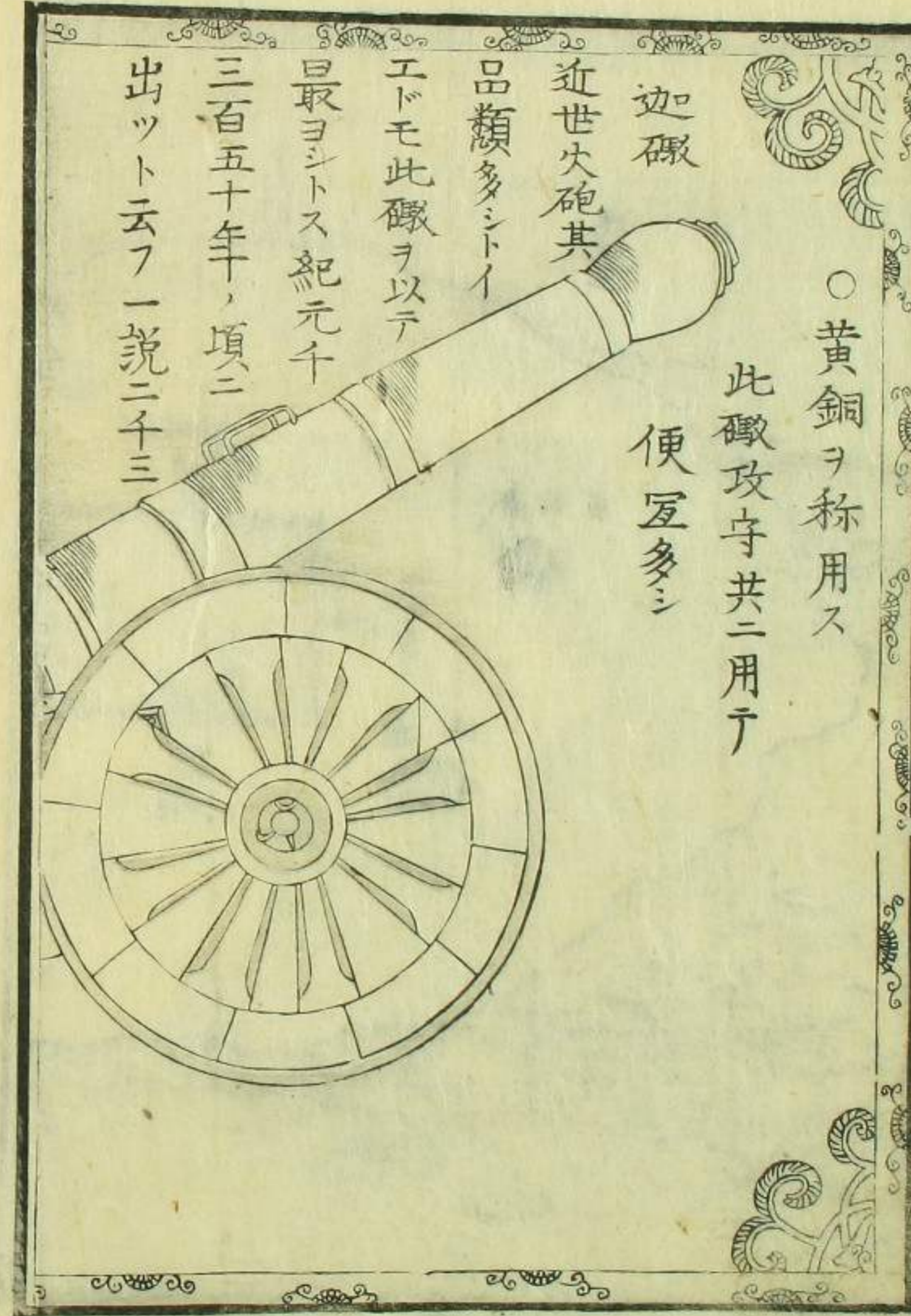
品類多シトイ

エトモ此礮ヲ以テ

最ヨシトス紀元千

二百五十年ノ頃ニ

出ツト云フ一説二千三



百八十年ハルテリト云

ヘル者藥劑制煉ノ支

アリテ硝石硫黄ニ味ヲ取油ヲ

加ヘテ之ヲ煮火気其器中ニ傳リ爆声

ヲ發シ急ニ燃騰スルヲアリ再三之ヲ騒

スルニ皆如是コニ於テ試示銅筒ヲ造リ油

ニ代ルニ木炭末ヲ以ス筒中ニ装ヒ石ヲ以テ

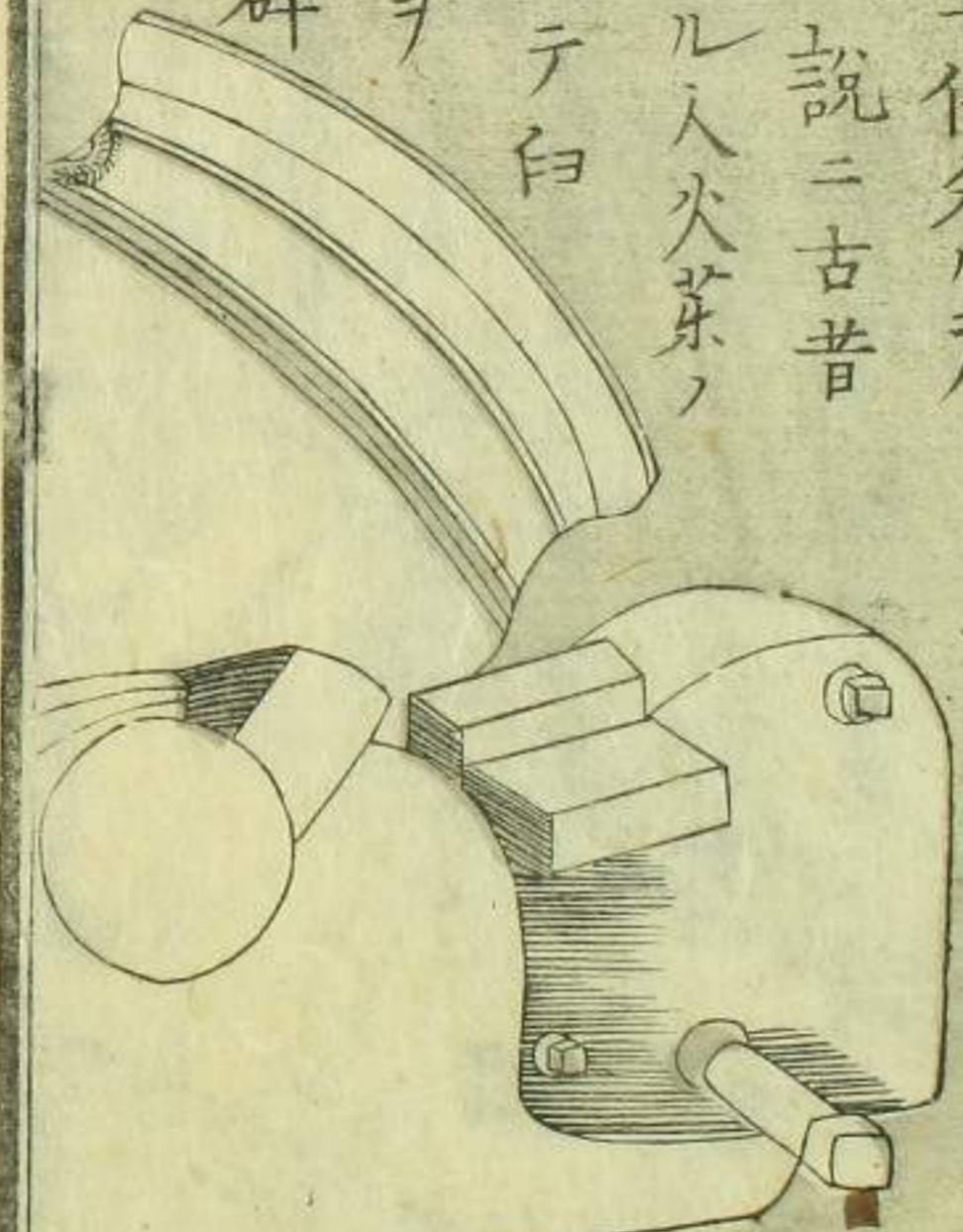
彈丸トナシ火ヲ点スルニ其石彈果メ遠射ス

礮ノ製此ニ原クト云フ之ヲ制表スルニハ○



白礮

其形状ノ白ニ似タルヲ
以テ名トス一説ニ古昔
ヲフルトト云ルハ火薬ノ
諸薬劑ヲ取テ白
内ニ入レ石杵ヲ
以テ之ヲ槽碎
スルニ偶然火



ヲ發シ石杵空

ニ飛騰ス此ニ孰テ

此發明ヨリ凡云フ其用ホ

ベン柘榴鉄籠鉄盆等ノ

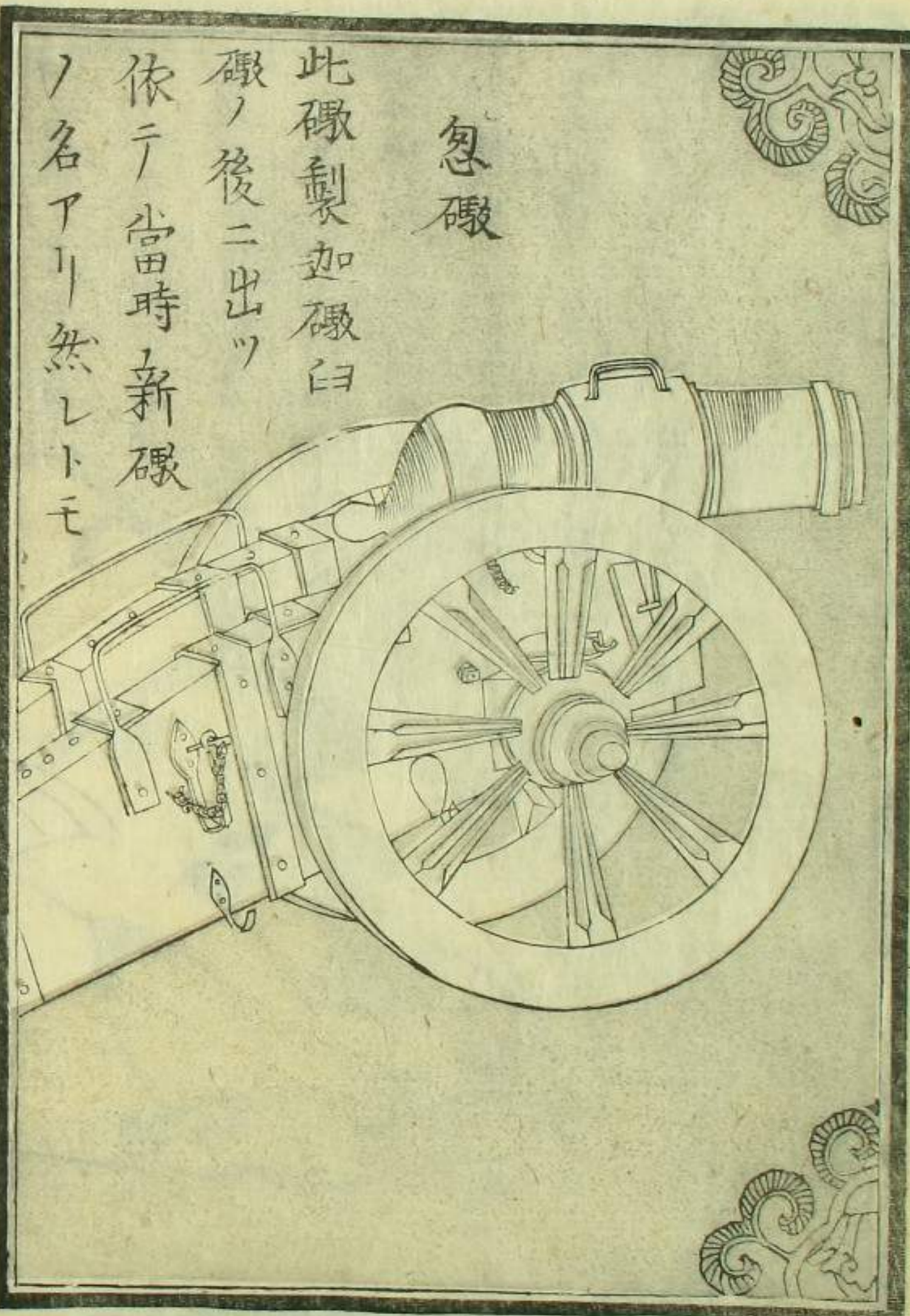
諸彈都テ重大劇烈ノモノヲ

仰發スルニアリ大小一ナラズ其形

モ亦從テ異ナリ今茲ニ五十廿ノ彈

ヲ發スベシ銅製ノモノヲ拳ク





忽礮

此礮製如礮臼
 礮ノ後ニ出ツ
 依テ當時新礮
 ノ名アリ然レトモ

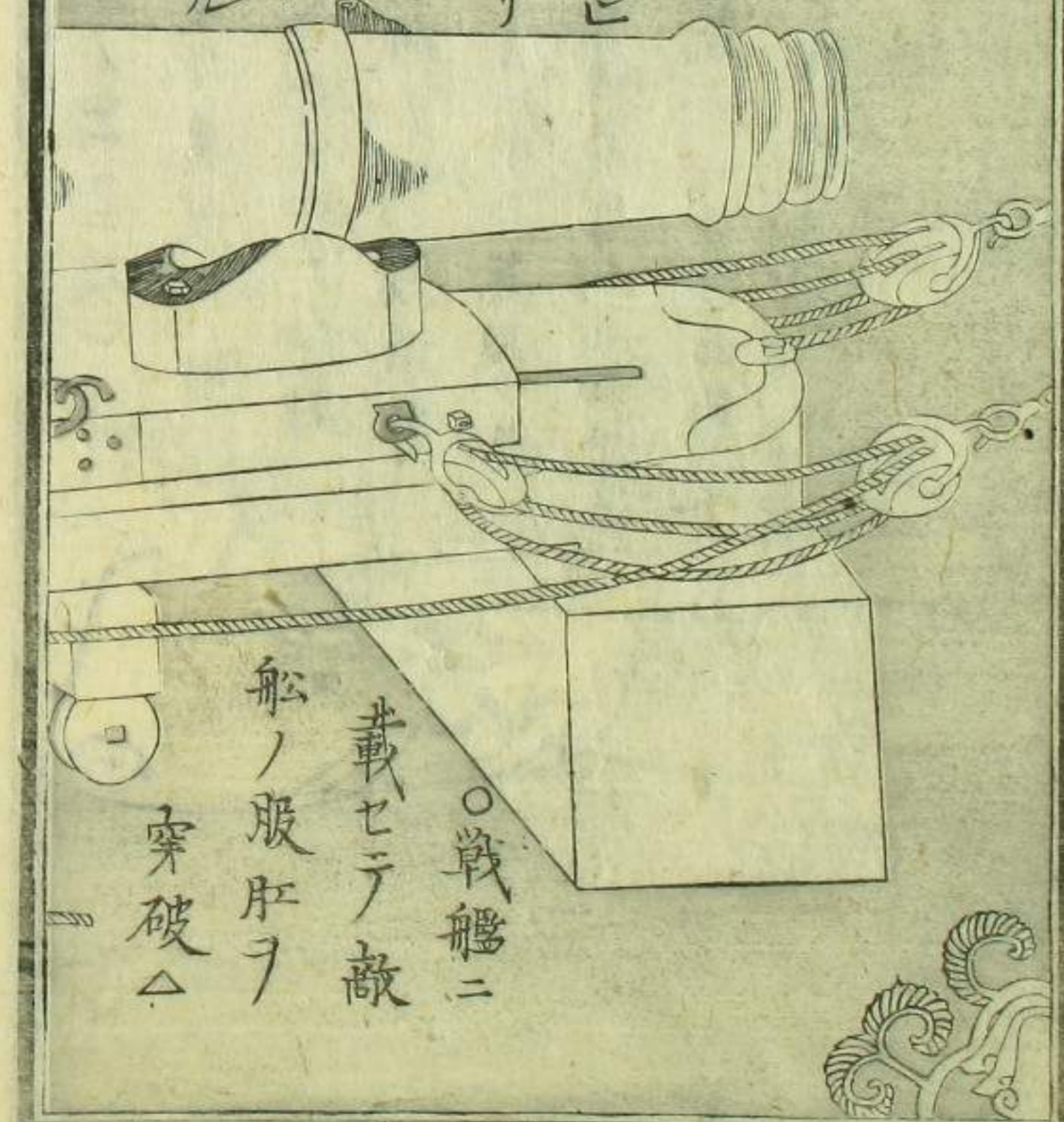


後又一車礮ノ出ルニ及ン
 テ新礮名廢ス其用ニ射
 スル所ハ宛モ逆礮ノ如ク仰射
 スル一殆ト白礮ノ如シ攻城野
 戦共ニ用ヒサルハナシ其彈丸
 ハ石榴彈電彈ホソヘタル等
 九ソ白礮ニ裝フヘキモノ皆之
 ヲ藏メ用ユベシ

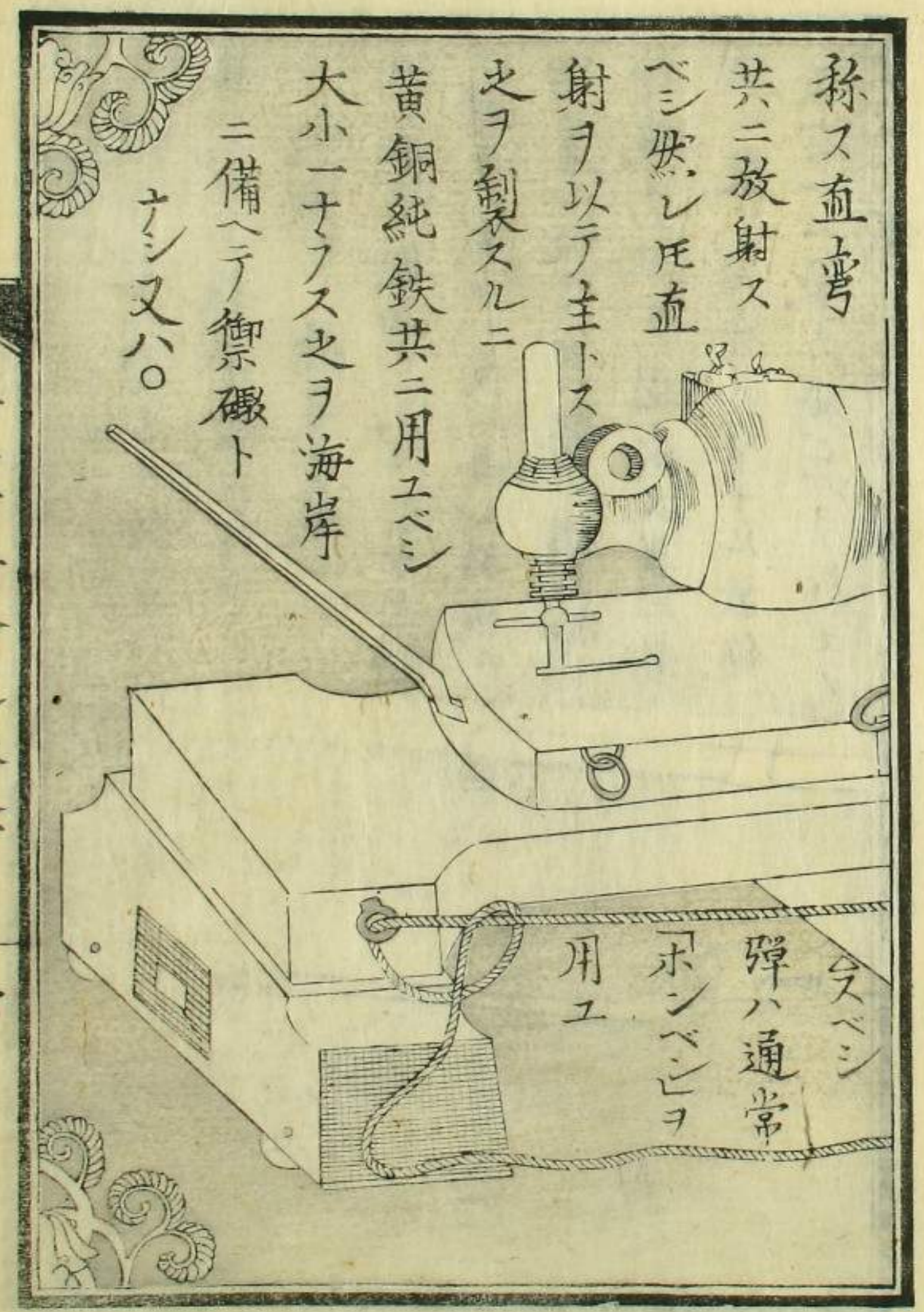
海軍新書
 五

一耳礮

紀元千七百八十年イキリス國ノカルロニト云ヘル者アリカ洲戦争時創テ此礮ヲ造ル故ニ「カルロナー」ト



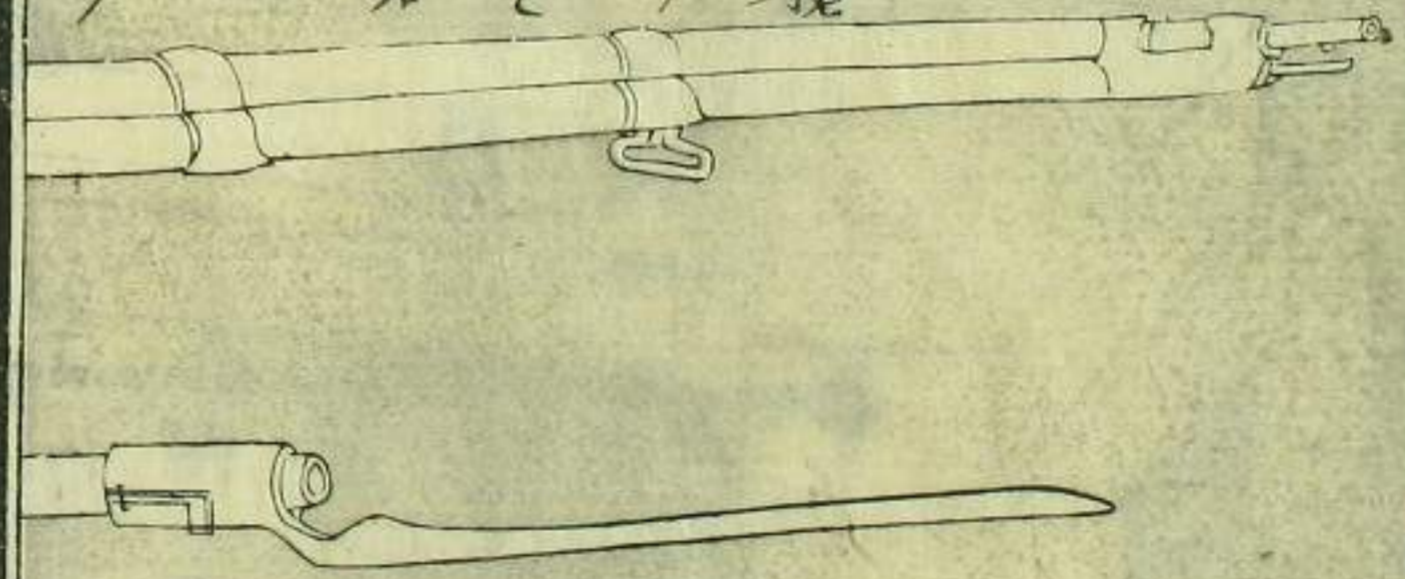
○戦艦ニ載セテ敵船ノ腹中ヲ穿破△



稱ス直貫礮共ニ放射スベシ然レモ直射ヲ以テ主トス之ヲ製スルニ黄銅純鉄共ニ用ユベシ大小一ナラス之ヲ海岸ニ備ヘテ禦礮トナシ又ハ。

△又ベシ彈ハ通常「ボンベ」ヲ用ユ

古昔ハコイキ槍ヲ
 執ル兵士銃卒後ニ引ツ
 キ銃放ツノ後直ニ進ンテ
 此ニ代リ敵中ニ入ル近世其槍
 ノ穂ヲ取テ更ニ長シ鉄環ヲ
 附着シ此ヲ鳥銃ノ頭ニ挿ミ
 螺旋ヲ以テ固定ス遂ニ鎗
 銃ニ器ノ用合メトナル放銃
 後有一二敵ノ騎兵ヲ刺スノ

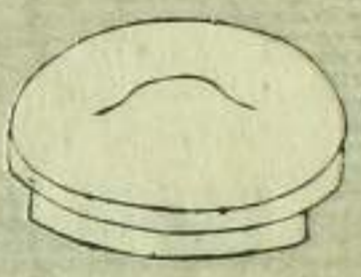


便利ヲ得セシム

筒ノ長サ一尺并把柄ヲ合
 メ一尺五寸ニスギス
 騎兵通メ此銃一挺
 ヲ備フ又歩兵ヲ腰
 間ニ懸ケ敵ニ迫近
 スルニ至テ放ツ



白礮筒盖



忽礮筒盖



ホ
ン
メ
ン
ノ
彈
ノ
權
棒

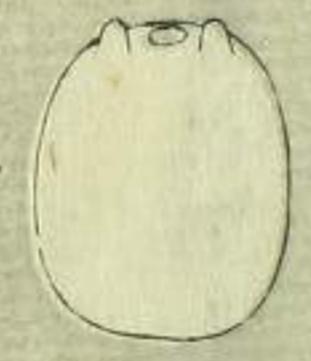
鉄殺彈



同

実丸

白礮ニ装スホンメン忽礮ニ装ス



海外新話拾遺卷之一

英將義律來清國廣東窺情勢事

茲不英將義律の出處をわむがうるは英吉利國の都城
 龍動の入りり幼時より聡慧材智人ふましくま他の見立事と
 戲嬉せざるの言語をまきくみ殆んど老成人の如一年四
 歳のとき坤輿図一幅を展天下萬國の名号を指てもつと
 父子問ふ父大よこまを奇と一をみるハちおをよむことをお
 一へ尚まて数年を経て龍動の學校に入て學問せしむ
 るよ寸陰をおしめてむる一うせむ學業日よ駉々乎と
 て大よまきりもつと申今古の歴史兵政の史を嗜りり

閣龍といへるもの信を讀み至て慨然として嘆曰て曰く
 大文夫再び世に生む當り閣龍の如く海外絶遠の地は往
 て其地を開拓し年々有無の産物を交易し國家萬世の
 大利潤をえり人民を富むべしと且謂く今日當て歐
 羅巴の全洲治平は歸し魯西亞國の帝之が盟主となり仁
 徳をもつるごとく各國の恩沢をくむる諸民こそ
 感服するをばその虚を窺ひ大事を起すべきや
 亞細亞洲のごときありしを今もあつて各國權威を
 争ひあひ相あつて洲中一治は歸ることを聞
 うを既に古昔よりして文物盛典と稱する漢土のごとき

二百年來の冒平打つぎ上下安逸はふけりその政令も亦大に
 癡弛し國民背違のころありととき志く先その
 清國といふところの形勢をうけひその虚隙に就て大夏を奉
 おこるることもあるべしとて是るの龍動ありしとて
 清國廣東へ出帆するところの商人は便船をこのいさその船
 に乗つてつおよ數萬里の海濤を志めざ廣東省のそとよ
 着帆せり此ところハ清國諸邦への産物交易所をば西洋
 各國の大船ハ言ふおよむ南北彌利堅等の商船まで相あ
 つまらぬ礎をおりし帆なりしらのおろきこと林のごと
 ぶごとく斯て義律ハ本國英吉利の商館よりしおのころ

曾く〜と云ふ所のものやあ〜んぐと多つ秘するも同一
 龍動のおまききのもの教十人よお舎〜至は事平
 安と賀〜對面のよろこびありあり〜お館内よあ
 つ〜交易の諸事を総統統領を人々を嗎喇遜といふ
 こまき〜龍動の人ありき〜多年印度地方よありて
 諸務をつら〜功勳多きよあ〜いま又その廣き商
 船の領事を本國英吉利王より命ぜらるる人漢字をも
 讀漢文をも綴りて漢の歴史ホともことと英吉利
 語を翻譯せるよりあり 義律公ことときてくる敏
 の〜よありつるを〜こびをなり録ともとりて嗎喇遜

よ對面〜おのまが宿志をゆう〜りをもま漢字の
 教授を受けんことを請ひをせり書夜とよ〜くそ
 の〜い〜とををせりや〜師の礼をゆ〜く厚く奉
 承せり 義律もとより一を聞〜十せよ〜る聰慧
 の天質をみだり〜教年を〜り〜師恩む
 多〜く〜能漢文を作り華言を弁〜清人
 と對話筆談自由〜通兵をま〜び嗎喇遜ま
 く経世の策をよ〜く〜我を試〜問ふふそのことと
 とら〜肯察を得〜ハチ〜もつ〜嗎喇遜ハ徐
 くその才器を愛〜本國英吉利王よ此趣をゆ〜

漢文新語抄遺卷之一

奏進そうしん——廣東交易總督の任をまつ義律きりつの御ごり
 自身みづかみ帰國きこくせんことを請こいふるは之これを許容きよかあり後のち二年
 ありては噶喇遜がらそんハ中國ちゆうごくの都城とせう龍動りゆうどうに立たたり義律
 ハ直ちかに廣東くわんとうに立たり——交易かうぎの諸務しよむを總督そうとくせり
 ぐよあわく——義律きりつ英吉利國いぎりまこくの爲ために大利たいりをなす
 と日夜思慮よちやしりゆをめぐりては日用じつようのものを積つ來きて有う
 用の財宝さいほうは交易かうぎするの外ほか——ありきバこせまらぐ
 羊やん々ざん齎し——來きるところの鴉片あへん煙えん葉えつの數かずを多おほくし
 清玉しんぎよくの金銀きんぎんを奪うばふあり就つひに清玉しんぎよく北京べいじん官
 人の智愚ちうい強弱きやうじやくをも問とふがんとおもひ事終じしゆうともこせ

を問とふべき人ひとあり——あお——あふらうつ——きりつと
 あり郭士立くわくしりつといふもの從來じゆうらい我英吉利玉いぎりまのたまの玉たま産うまれ
 り——久ひさ——清玉しんぎよくに停とどめ——此こゝにハ都城とせう北
 京きやうと距さること遠とほく——天津てんしんといふところも爲なす
 あり——ありてハ先まづ此こゝのものを招まねき我の才さいをこころそ
 て事ことをなする處ところ——と——英吉利國いぎりまこくの任にん業ぎやう紹
 といふものよあめ之委いさい命めいのこと志しすめしる書翰しよかんを
 ちつ——急きゆう飛ひ御ごよ託たく——天津てんしんにあり郭士立くわくしりつの許
 送おくれ——斯かくに飛ひ御ごハ教きやう月げつを經へて天津てんしんといふ
 り右みぎの書翰しよかんをちつ——郭士立くわくしりつに連つれ士立しりつその書しよを

披き見たりよその大畧は曰く君とおありし故
 玉を考へ万里の舟異域より久しく身を投じむ
 ちあし日月をおくる船の程ありしとも大利
 を考へし本西英吉利帝の為より庶民を富
 玉鶴を強壯よせんのみあり君も一と意
 を同みし力を振えんとあし早速廣東省より下向あ
 りし余が鼓内より来つし大事をお議をな
 時節ふしび到らむ此時を失ふは終とありし終
 郭士立ハ余が知己唯此人ありと心中ひそし喜悅し
 不日は天津を發程し道々する山川の險路夜を

日又つまらぬ廣東の商餉を著しあるし義
 律もまた大ひよふらるる事と説を為さし人
 ありし事をとさつし即日人を志しし士立よ對
 面ありし本西英吉利はあつし我志しし却て教
 百里の舟よあわしめりき交りしとむはび大事
 を議することまつし前世の結録もやあらん素
 と互りし中睦の言辞もおもひてのち義律已に心服
 を吐露しししししし我亦前年嗎喇
 遜の譲りを受けしより此廣東商餉の諸務
 をつらさたり本國英吉利の利潤をなすし年々

中々... 鴉片... 増清國の人... 他の計策... 北京へ遊び... 告ぐま... 康熙乾... 隆の法割... 政權を... 高位... 襁褓の裡... 英邁あるもの... 忠言骨硬の臣... 杞憂を抱く... 草野に隠伏... 朝廷に位... 官人の... 唯は... 賄賂... 乾隆嘉慶年間... 鴉片... 禁... 令何... 且無用の毒物... 彼が

長とあるもの... 英邁あるもの... 忠言骨硬の臣... 杞憂を抱く... 草野に隠伏... 朝廷に位... 官人の... 唯は... 賄賂... 乾隆嘉慶年間... 鴉片... 禁... 令何... 且無用の毒物... 彼が

有用の財宝を奪ふは我英吉利の利益
 益にまさるべきことあるを慮るは今日も
 あまうところのこと一々良金の計策ありといひ
 れバ義律をなちち印度諸島の商館へもつら
 鴉片烟草を積送るべきの事をせよとつら
 せば皆々よろこび間地はおおく罌粟花をおび
 一極をこまをゆつて鴉片を割一々数万兩
 を廣東の地におくる清國の人民もとり嗜好
 をなすべしきよもつていささか金銀財宝をお
 まびしてこれを買もとるうらやましく英吉利の商人

年々大利を得てつねつねハ英商
 亦義律郭士立兩人をいさぐこと天の
 の命令はまじかハざるものなり一々
 東の黄爵茲といつる人鴉片烟草を
 あることをさつてその事をゆつて道光帝
 聞かして嚴禁の法をもちけ事をおこ
 つつては連年の戦争をおよへり而して清兵
 利をふき取以のゆへハ義律郭士立の輩
 はあつてその情勢恩怨強弱一々之を明
 老巴剎の孫子曰昔殷之興也伊摯在夏周之興也

呂牙在殷故能以上智為閔者必成大功宜あり義
 律預り清國に來り其凶勢を窺ひ戦争の日に
 當つて往々勝利を得二千一百万兩の和金を
 以て其事を終ること用間の道深哉

海外新話拾遺卷之一

早稲田大学図書館

011488465904